

ビジュアルコミュニケーションシステム

Live On®

導入事例

利用目的：社内会議 社員研修・研修配信 BCP対策

業種：金融・保険

社員規模：100～500名

 岐阜商工信用組合様

LiveOnオンプレミス版へのリプレイスで、初期コストは既存製品での更改の半分以上に。優れた操作性でWeb会議の「使いやすさ」が大きく向上



岐阜商工信用組合
総務部総務課長 中根 英祐様

設立：昭和28年9月11日
資本金(出資金)：7,551百万円(2020年3月時点)
従業員数：286人(2020年3月時点)
本社所在地：岐阜県岐阜市美江寺町2丁目4番地3
事業内容：金融業務全般
URL：https://www.shoushin.co.jp/

導入前の課題

- ・ テレビ会議の更改・運用費用が高額
- ・ 接続方法が複雑で、準備にも時間が掛かる
- ・ 使用できる帯域が定められている中で使用する必要がある

LiveOnで解決！

- ✓ 導入費用を既存製品での更改の半額以下に削減
- ✓ 操作性が良く、誰でも簡単に使える環境に
- ✓ 負荷軽減の仕組みがあり、既存ネットワーク下でも安定した通信が可能

 導入前の課題

既存のシステムの更改に伴い、費用の高さがネックに

岐阜地域を基盤としたコミュニティバンクとして県下に22店舗を展開する岐阜商工信用組合では、オンプレミス版でLiveOnを全店舗で活用している。同組合ではテレビ会議システムを導入していたが、契約更改に伴い導入費用などが高額になることが課題となり、製品のリプレイスを検討した。

接続が複雑、会議の準備に時間が掛かる

コストの課題以外にも、既存のテレビ会議システムは接続方法が複雑で、機器の認識がスムーズにいかないといったトラブルも多く発生していた。そのため、テレビ会議を始める際は数十分前から準備を行う必要があったという。また、使用できる端末もアカウントで固定されており、柔軟な運用ができないという課題もあった。

帯域に制限があるネットワーク環境下の利用

同組合のネットワークはWeb会議で使用できる通信帯域が定められており、その中で運用を行う必要がある。リプレイスにあたっては、ネットワークへの負荷が少なく、既存のネットワークで安定して使うことのできる製品である必要があった。

 LiveOn選定の決め手

導入費用は既存のテレビ会議システムの半分以上に

長く使い続けるためには、コスト面でも負担が少ないことが重要である。オンプレミス版で導入するにあたり、LiveOnは初期費用・構築費を既存のテレビ会議システムの半分以上に抑えて導入することができ、その後の保守費用を加味しても大きな費用削減を実現できたという。自社開発製品ならではのきめ細やかなサポートもあり、価格だけでなくサポートや品質面においても非常にバランスの良い製品であることが決め手となった。

